

令和5年度第2回吉田町部活動の在り方協議会

- 1 日 時 令和5年10月10日(火) 15時00分～16時30分
- 2 場 所 吉田町役場5階 会議室2
- 3 進 行 学校教育課
- 4 次 第
 - (1) 教育長あいさつ
 - (2) 議 事
 - ・吉田中学校部活動の地域移行スケジュール(案)について
 - ・吉田中学校部活動の地域移行に関する課題と今後の方向性(事務局案)について
 - ・意見交換(吉田中学校部活動の地域移行に関する課題と今後の方向性について)
- 5 意見交換の内容
 - (1) 村本常葉大学准教授のお話
 - ・指導者の確保が課題である。
 - ・各市町が指導者の奪い合いになるため、「指導者バンク」を設置し、吉田町内外から指導者を集めるなどの施策を考える必要がある。
 - ・地域指導者と教員それぞれの指導者による指導を取り入れることにより視野が広がる。
 - ・トラブル意見集約のコーディネーターを雇用する必要がある。
 - ・スポーツ・文化活動を包括した大きな地域クラブを設置することが望ましい。
 - ・掛川市の取組事例
 - 生徒が自由に選択する制度を維持しつつ、令和8年8月の部活動廃止を目指す。
 - 指導者バンクの設置。
 - 公認地域指導者資格の設立。
 - (2) 委員から挙げられた意見
 - ・複数の指導による生徒の混乱を招くことがないよう、休日のみでなく平日も含めた地域移行が必要である。
 - ・中体連の大会はほぼ教員が運営に当たっているため、地域移行後の大会運営が可能か不安である。
 - ・地域移行が不可能である部については、部活動の継続も考えられる。
 - ・部活動は技術のみを教えるためのものではないため、部活動の意義を地域に引き継ぐことができるか疑問。
 - ・部活動の意義を損なわず「子供のため」になる施策を考える必要がある。
 - ・地域移行の時期を明確にすることが進捗を図る上で重要であると考える。
 - ・現況の部活動の実施時間帯での地域活動はむずかしいと考える。
 - ・指導者の研修を実施することや、そのための補助制度も必要である。
 - ・子供の数が減っているため、活動の継続がむずかしいと考える。
 - ・保護者への周知を丁寧にしていただきたい。